

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：1/29(月)～2/2(金)

・ 1/29(月)

コインチェックの問題、国会論戦、今週金曜日の相撲協会理事候補選、ヒラリー氏がグラミー賞の授賞式でトランプ氏の暴露本を読み上げる、といったことなどが報じられました。国会論戦とトランプ氏の暴露本については放送法第四条の観点から検討・検証を行いました。いずれも特に問題は見られませんでした。しかし、国会論戦については一部、印象操作の疑いのあるシーンが見られました。また、トランプ氏の暴露本については検証者の所感を記しました。

・ 1/30(火)

ジャパンライフのマルチ商法と天下りの問題、旧優生保護法のもとでの不妊手術をめぐる訴訟、平昌オリンピックと南北朝鮮などについて報じられました。ジャパンライフ問題、不妊手術をめぐる訴訟、南北朝鮮については放送法第四条の観点から検討・検証を行いました。いずれも特に問題は見られませんでした。なお、ジャパンライフ問題については検証者の所感を記しました。

・ 1/31(水)

皆既月食、トランプ大統領の一般教書演説、線香問題を追及される茂木大臣に与党からの苦言などについて報じられました。トランプ大統領の一般教書演説と茂木大臣の問題については放送法第四条の観点から検討・検証を行った結果、茂木大臣の問題を取り上げたトピックについては放送法違反の疑いのあるシーンが見られました。また、トランプ大統領の一般教書演説については検証者の所感を記しました。

・ 2/1(木)

首都圏「積雪 5 cm」予想、森友学園問題、仮想通貨流出問題などが報じられました。森友学園問題については放送法第四条の観点から検討・検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

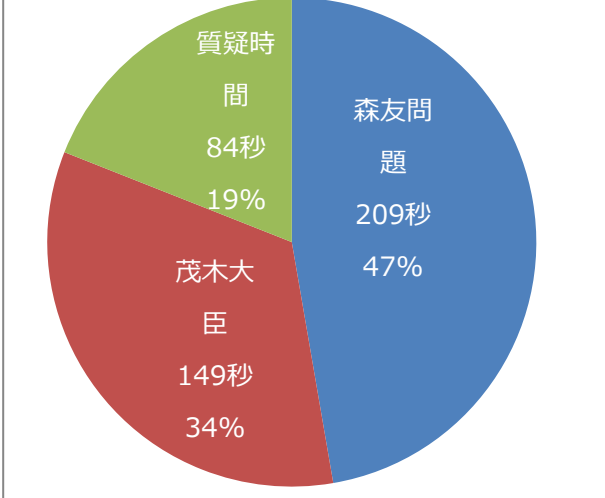
・ 2/2(金)

リニア談合、北朝鮮と平昌オリンピック、大学入試、森友学園問題、日米首脳の電話会談などについて報じられました。例示したトピックについては放送法第四条の観点から検討・検証を行いました。特に問題は見られませんでした。なお、大学入試に関しては検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 2月1号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年1月29日												
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙														
検証テーマ：国会論戦、ヒラリー氏とトランプ暴露本														
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【最新】コインチェック“甘さ”露呈、警視庁は幹部ら任意聴取</li> <li>・【現場から、なくせ！危険運転】</li> <li>・国会論戦             <ul style="list-style-type: none"> <li>森友問題</li> <li>茂木大臣</li> <li>質問時間</li> </ul> </li> <li>・相撲協会、金曜日に理事候補選</li> <li>・関東で雪やひょう、都心で今週また積雪か</li> <li>・【速報】立命館中学校の男子生徒、マラソン大会後、心肺停止</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・ヒラリー氏がトランプ暴露本を</li> </ul>														
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨														
<p>・国会論戦</p> <p>国会で取り上げられた問題として森友学園問題と先週一部週刊誌で報じられた茂木大臣が地元選挙区の有権者に手帳や線香を無償で配っていた問題、加えて質疑時間をめぐり与党からの質問者、堀内詔子衆議院議員が質問時間を余らせてしまうという一幕が報じられた。このトピックについて報じられた時間は453秒でそれぞれのトピックについての時間配分及び比率は以下の通りである。</p>														
 <table border="1"> <caption>トピック別の時間配分及び比率</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森友問題</td> <td>209</td> <td>47%</td> </tr> <tr> <td>茂木大臣</td> <td>149</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>質疑時間</td> <td>84</td> <td>19%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	森友問題	209	47%	茂木大臣	149	34%	質疑時間	84	19%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)												
森友問題	209	47%												
茂木大臣	149	34%												
質疑時間	84	19%												
<p>具体的な政策論争については取り上げられなかったので今回は賛否を計測するということはしなかった。</p>														

質問時間に関しては、質問に対する答弁時間を除いての時間として割り当てられているのか、それとも質問に対する答弁時間まで含めて質問時間として割り当てられているのかで、質問時間が余ってしまうことの意味合いが変わってくるはずだが、そのあたりについての補足説明はなかった点については放送法第四条の観点から抵触するわけではないが、番組の作りとしてやや不親切であるように感じた。

## ・ヒラリー氏、トランプ氏の暴露本を読み上げる

アメリカ最大の音楽の祭典であるグラミー賞の授賞式でトランプ大統領への皮肉や批判が相次いだこと、ヒラリー・クリントン氏がトランプ政権の暴露本を読み上げるビデオが流れると会場は大いに沸いたことが伝えられた。このトピックについて報じられた時間は44秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

## ・国会論戦

スタジオでは星キャスターが「今日聞いてましたけど時間が余ったことだけではなくて、質問の中身も甘さがありましたね。例えばですね、少子化問題についてどう考えますかという質問をしたりしてですね、それで閣僚の方から長々と説明があったりしましたよね。自民党がその、質問時間を長くしろっていうならねやっぱりもうちょっと独自の切り口でね、鋭く迫るっていう質問をやって見せないとなりのための質問時間かってことになりまますよね。」とコメントしていたが、そもそも今回の報道では国会論戦の様子も①森友学園問題、②茂木氏の問題、③堀内詔子議員が質問時間を余らせたシーン、の3点のみが取り上げられており、政策論争については何が論じられたかについて全く紹介されていなかった。そうした状況で実際に行われた質問のシーンを見せずに「質問の中身も甘さがありました」と評価するのは、番組の構成上あまりに一方的ではないだろうか。また、「少子化問題についてどう考えますか」という質問についても、少子化が問題だというのが自明視されている中でそもそもなぜ少子化は問題なのか、どこに問題の所在や不都合があるのかという点について問い質すことがそこまで甘い質問ではないはずだ。

このように、スタジオでのコメントによって、実際に行われた質問のシーンを見ていない視聴者に対して「与党議員の質問が甘い」という印象を与えるおそれがあると考えられる。「質問が甘い」と評するのであれば、実際の質問のシーンも視聴者に紹介するべきであろう。

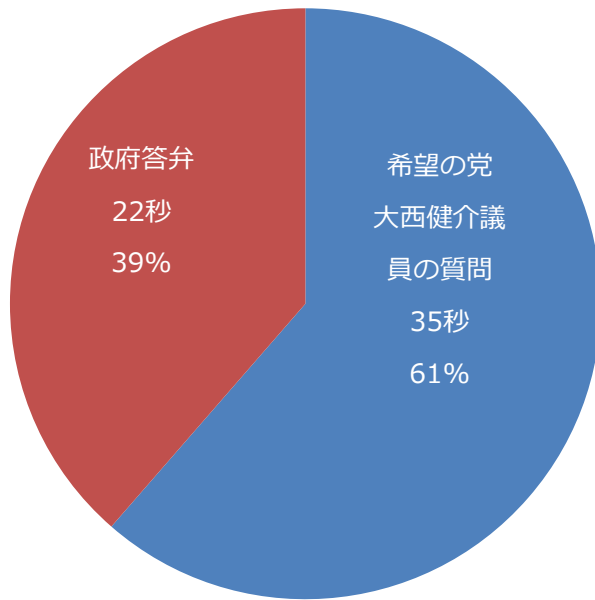
検証者所感

## ・ヒラリー氏、トランプ氏の暴露本を読み上げる

トランプ氏がアメリカの文化界の式典などで批判や皮肉を受けることはよく報じられているような印象を受けるが、日本では文化関係の大々的だったりエスタブリッシュな式典などで政治家に対する批判や皮肉を浴びせたりするようなニュースはあまり聞かないような気がする。日本とは異なる事情がアメリカにも有るような気がした。そのあたりについては掘り下げて報じないのだろうか。

# NEWS23 週刊報告 2月1号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年1月30日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：ジャパンライフ、不妊手術訴訟、平昌オリンピックと南北朝鮮		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本相撲協会理事候補選挙、貴乃花親方が立候補の意向</li> <li>・大砂嵐、無免許運転の疑いで今日、任意の事情聴取 警察に嘘の説明をした疑いも</li> <li>・ジャパンライフ 消費者庁の担当者が天下り 「マルチ商法」のカラクリ</li> <li>・【学校のモンダイ】組体操、相次ぐ事故の裏側</li> <li>・岡山県、集団下校の列に車が……、小学生5人死傷</li> <li>・兵庫県、兄を包丁で切りつけ、大阪大4年の弟を逮捕</li> <li>・愛知県、住宅街で泥酔の男がタクシー乗っ取り暴走</li> <li>・茨城県、路面凍結が原因とみられる交通事故 都心は再び雪の可能性</li> <li>・宮城県・山形県の県境の蔵王山、噴火警戒レベル2に、火山性微動を観測</li> <li>・不妊手術の強制は違憲、女性(60代)国を提訴</li> <li>・クリーブランド・インディアンズ、「差別的」との批判を受け先住民を模倣したロゴを使用せず</li> <li>・平昌オリンピックと南北朝鮮</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・中国-ラオス国境をまたぐゾウ</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパンライフ マルチ商法で巨額の資金を集めながら事実上倒産したジャパンライフについて、多くの高齢者が億の単位で老後の資金をつぎ込んでいたことがわかったこと、消費者庁の取引対策課でジャパンライフの担当をしていた課長補佐がジャパンライフに天下りをしていたこと、それが国会で取り上げられたことが報じられた。 VTRではジャパンライフと契約していた高齢者へのインタビュー、ジャパンライフの取引のモデルについて、国会質疑が取り上げられた。また、国会質疑では希望の党の大西健介議員の質問とそれに対する川口康裕消費者庁次長と江崎鉄磨消費者相の答弁の映像が取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は317秒で、国会質疑の映像についての時間配分及び比率は以下の通りである。</li> </ul>		



放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・不妊手術訴訟

旧優生保護法のもとで不妊手術を強制されたとして全国で初めてとなる国家賠償訴訟が起こされたこと、厚生労働省は訴状が届いていないのでコメントは差し控えたいとしていることが報じられた。このトピックに当てられた時間は 42 秒だった。

放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・平昌オリンピックと北朝鮮

南北共同の文化行事をキャンセルすることを北朝鮮が突然通告してきたこと、それについて「一連の南北行事について韓国国内では北朝鮮の宣伝に利用されるとの懸念が強く、こうした韓国の報道に北朝鮮が反発したとの見方」、「行事で使用する暖房や照明の電力は韓国が提供することになっていて韓国政府は発電に必要な軽油 10000 リットルを北朝鮮に持ち込む計画でした。しかしこれがアメリカの対北朝鮮制裁に違反するおそれが浮上。北朝鮮としては韓国からの軽油の提供がなければ行事の開催は難しく面目を保つために先手を打って中止を決めたという見方」の2つの説が紹介されていた。このトピックに当てられた時間は 212 秒だった。

放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・特になし

検証者所感

・ジャパンライフ

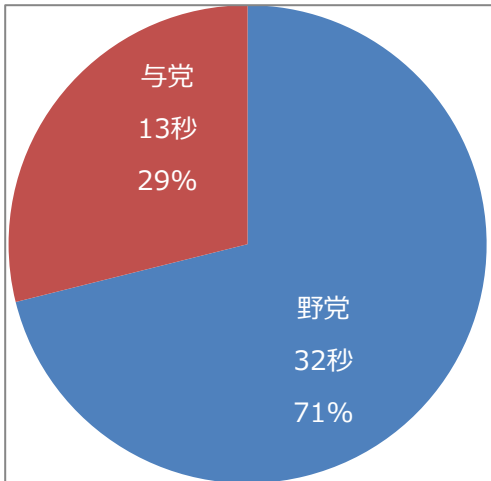
ジャパンライフのビジネスモデルについて VTR で説明されている点は評価できる。しかし、報道中で用いられた「天下り」という表現や、ジャパンライフに再就職したものが課長補佐について年齢が明かされなかったことについては、違和感を覚えた。

キャリア組かノンキャリア組かで課長補佐に就任する年齢や、課長補佐後のキャリアパスも異なるため、再就職についても意味合いが変わってくるのだが、そのあたりが見えてこない報じ方にもどかしさを感じた。

# NEWS23 週刊報告 2月1号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年1月31日									
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾											
検証テーマ：トランプ大統領の一般教書演説											
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆既月食</li> <li>・貴乃花一門、ダブル出馬の裏側</li> <li>・あす首都圏で雪か</li> <li>・トランプ大統領の一般教書演説 会場に脱北者、トランプ氏の狙いは</li> <li>・中国閲覧者数3億人の人気、禁じられた音楽</li> <li>・線香問題を追及される茂木大臣に与党から苦言</li> <li>・教師が暴行、小3男児重賞</li> <li>・はれの日従業員聴取</li> <li>・スポーツ情報</li> <li>・天気予報</li> </ul>											
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場に脱北者、トランプ氏の狙いは トランプ大統領の一般教書演説についての報道。 演説の中で脱北者の男性が紹介されたことや、民主党議員がスタンディングオベーションを拒否したことについて触れられた。検証シートを作成したものの、多くが脱北者に絡めた平昌五輪を中心にした話題であり、賛否が分かれるシーンはなかった。なおこのトピックは354秒であった。</li> <li>・線香問題追及、茂木大臣に与党から苦言 線香問題で追及を受けている茂木大臣が野田総務大臣と談笑していることについて、公明党の井上幹事長がくぎを刺したことについて報道がなされた。このトピックに当てられた時間は108秒で、賛否の時間配分は以下の通りである。</li> </ul>											
<table border="1"> <caption>賛否の時間配分</caption> <thead> <tr> <th>賛否</th> <th>時間 (秒)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>10</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>42</td> <td>81%</td> </tr> </tbody> </table>			賛否	時間 (秒)	割合 (%)	賛成	10	19%	反対	42	81%
賛否	時間 (秒)	割合 (%)									
賛成	10	19%									
反対	42	81%									

反対意見の比率が目立つものの与党側からの反対意見も含んでいるため賛否において偏った比率となるのは致し方ないと言える。しかし与野党に分類してみても偏った比率となっていた。



野党側が 32 秒、与党側の発言が 13 秒であった。報道時間の少なさ等もあるので一概に判断するのは難しいが、少なくとも今報道においての比率上、反対の姿勢が強かったことが表れている。今後ともこのトピックは注視すべきと考える。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨特になし。

#### 検証者所感

・会場に脱北者、トランプ氏の狙いは

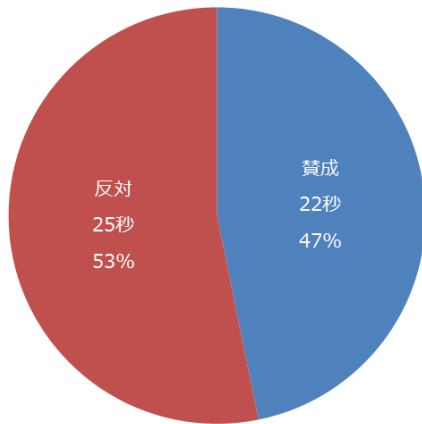
コメンテーターの星浩氏の発言で「今日の演説でも 10 人くらい招かれているんですね。ハリケーンで 40 人の命を助けた女性の・・・とかですね、森林火災で 60 人の子供を助けた男性とか消防士さんとかですね、今年 1 年間にトランプさん色々これを行ったんだという、アピールする場になったわけですよ。」と話していたものの、脱北者以外の演説に招いた人々の紹介から、トランプ氏が一般教書演説をアピールの場にしたという指摘への飛び方が余りに脈絡も無く、因果関係が不明確であった。

また「日本政府も北朝鮮への対応もね、トランプさんもしかして気まぐれじゃないかなというのをちょっと警戒してますよね。」との発言があったが、報道内において日本政府関係者がトランプ氏の「気まぐれ」を警戒しているコメント等の紹介が無かった点も留意すべき点と思う。



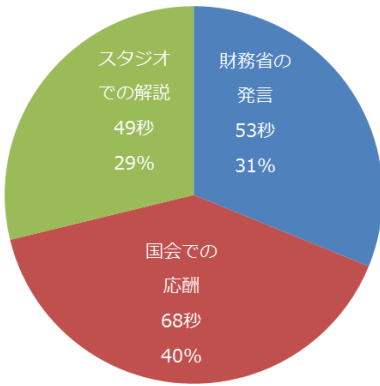
# NEWS23 週刊報告 2月1号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年2月1日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：・財務省が答弁一転 「廃棄した」文章の存在を認める		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏「積雪5cm」予想 対策が講じられる</li> <li>・貴乃花一門が極秘会合 理事選前に何が語られたか</li> <li>・ショベルカーが道路に突っ込む 女子児童が死亡</li> <li>・自立支援施設全焼 11人死亡</li> <li>・「ネットカフェ難民」4000人</li> <li>・藤井聡太氏 史上初の「中学生五段」に</li> <li>・平昌オリンピック ドーピング検査ボトルに欠陥指摘</li> <li>・財務省が答弁一転 「廃棄した」文章の存在を認める</li> <li>・パンダ「シャンシャン」が先着順の観覧に 1200人が行列</li> <li>・愛媛・聖カタリナ学園高校でセクハラ事件</li> <li>・仮想通貨流出問題 一部が大手取引所口座へ</li> <li>・米・新型迎撃ミサイルシステム 実験失敗</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・藤井聡太氏会見 「昇給果たせてうれしい」</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務省が答弁一転 「廃棄した」文章の存在を認める</li> </ul> <p><b>【報道内容】</b></p> <p>財務省の理財局長がこれまで存在しないと答弁していたことを一転し、森友学園との交渉記録が存在することを国会で答弁したことを伝える内容であった。それに伴い、野党の辰巳議員が関係閣僚との応酬も合わせて伝えられた。最後に、スタジオに戻り財務省が答弁を一転させたことの言い分を星キャスターが解説し、最後に「あらゆる残っている文書を公開して国会の検証に提供すべきだと思いますね。」という見解を述べた。</p> <p><b>【検証結果】</b></p> <p>この報道においては賛否の基準を「財務省と政府の主張」と「追求する野党」とした。検証結果は以下の通り。</p> <p>賛成：22秒（47%） 反対：25秒（53%） また、その他の時間が123秒存在した。</p> <p>賛否バランスはかなり公平な時間配分がされているものと考えられ、放送法第4条の違反に該当する内容ではなかった。</p>		



また、報道内容を「財務省の答弁」「国会での応酬」「スタジオでの解説」の3つに分け、各トピックの時間計測を行った。結果は以下の通り。

「財務省の答弁」：53秒（31%） 「国会での応酬」：68秒（40%） 「スタジオでの解説」：49秒（29%）



最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感  
特になし。

# NEWS23 週刊報告 2 月 1 号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年2月2日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：リニア談合、北朝鮮と平昌オリンピック、大学入試、森友学園問題、日米首脳の話電話会談		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲協会理事候補選挙 貴乃花親方の目指す相撲道の形</li> <li>・札幌 11 人死亡火災、困窮者住宅の厳しい実態</li> <li>・【学校のモンダイ】愛媛県、教師がセクハラ</li> <li>・リニア談合、大成建設が東京地検特捜部に抗議文</li> <li>・北朝鮮の選手、韓国のリンクで練習中に緊急搬送</li> <li>・東京都、軽トラックの男が 30 メートル引きずりバッグを奪い逃走</li> <li>・相次ぐ入試ミス、解答例公開などルール化へ</li> <li>・森友学園問題</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・日米首脳が電話会談</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア談合 リニア中央新幹線をめぐる談合事件で、東京地検特捜部から昨日自宅捜索を受けた大手ゼネコン大成建設が捜査は不当だったとして抗議文を提出したことが報じられた。「特捜部による事情聴取を受けた大成建設の社員、大成建設側の弁護士はその後社員から聴取の内容を文書にまとめましたが特捜部はこの文書のほか、弁護士のパソコンまで押収したというのです。さらに、特捜部の検察官が社長室で社員らの事情聴取を行った際、社長の前でもウソを付くのかふざけるな、などと怒鳴りつけた」などとする捜査についての抗議文の記述が紹介され、リクルート事件などの捜査に携わった元検事の高井康行弁護士の「わざわざ社長室に読んで聞いたとなるとね、それはそういう環境を利用して自分の聞きたいことを聞き出そうとしたと、こう言われてもね、やむを得ないわけで誰が見てもそれは問題ありますね、って言う捜査だと思いますね。」というコメントも紹介された。なお、東京地検特捜部は JNN の取材に対しコメントは致しません、としていることも併せて報じられた後に、東京地検特捜部は今夜、独占禁止法違反の疑いで大成建設の本社に前日に続き三度目となる自宅捜索に入ったことが速報で伝えられた。このトピックに当てられた時間は 172 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。</li> <li>・北朝鮮と平昌オリンピック 平昌オリンピック出場予定の北朝鮮のショートトラック選手が韓国の江陵で練習中に転倒、救急搬送されたことが報じられた。なお、今回は南北朝鮮の関係については特に報じられなかった。このトピックに当てられた時</li> </ul>		

放送法遵守を求める視聴者の会

間は 57 秒だった。放送法第四条の観点からも特に問題は見られなかった。

- ・ 大学入試

京都大学や大阪大学で入試ミスが相次いだ問題をうけて林文部科学大臣は入試情報の開示について来年度から新たなルール作り着手する考えを示したこと、新たなルールを適用するため大学側や専門家から聞き取りを行い今年 6 月頃までに示したいとしていることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 99 秒だった。着手段階のため、賛否の割れるところはなかったが具体的なルールが見えてくると賛否が分かれる可能性は考えられる。放送法第四条の観点からも特に問題は見られなかった。

- ・ 森友学園問題

昨日、共産党の辰巳孝太郎参議院議員からの「昭恵氏は籠池氏に電話をしたんですか？」という質問に対して事前通告しなければ答えられないとしていた安倍総理が昭恵夫人に確認したとして今日改めて「昨日は事前通告がなかったので確認できなかったのですが、妻に確認したところですね、そのような電話はしていないということでありました。そもそも私の妻は籠池氏が財務省の室長と面会していることを知りませんし、しりょうもないわけでありまして。」と答弁したこと、野党側は改めて昭恵夫人や財務省の佐川前理財局長の証人喚問を求めていることが報じられた。このトピックに当てられた時間は 119 秒だった。

- ・ 日米電話会談

安倍総理が今夜、トランプ大統領と電話で会談し、沖縄県でアメリカ軍ヘリの事故などが相次いだことについて安全確保を要請したこと、平昌オリンピックの開会式に出席する際に日韓首脳会談を行うことに触れ韓国とも緊密な連携について申し入れていくことなどで合意をしたことが報じられた。

スタジオでは星キャスターが「安全確保を求めるのは当然のことですけれども、日曜日に名護市長選挙の投開票がありますのでね、これ与野党一騎打ちということですので、それを睨んでの電話会談という見方も出ていますね、そういう意味ではいろんな思惑も勿論含まれている、言うことですが」とコメントしていた。

このトピックに当てられた時間は 56 秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし。

検証者所感

- ・ 大学入試

スタジオで星キャスター「そうですね、なんか回答例を発表すると色々疑問点を指摘されて混乱するというのを大学側は避けているんじゃないかって文科省はみているんですけれども、これは大学の都合ですよね、受験生からすると納得出来ないと思いますよね」とコメントしていたが、たしかに言われてみればおかしな話だと感じると同時に、予備校や出版社の出している過去問で同じ問題でも発行元によって回答例が違っているケース

## NEWS23 週刊報告 2月1号 詳細版

があったことを思い出したが、そうした背景にはそもそも大学側が回答例を発表していないという事情があったのかと今更ながら合点が行った。